

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年1月26日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年12月30日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ネブラスカ大学オマハ校(日本語名) University of Nebraska at Omaha(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年8月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月下旬 2 学期: 1月中旬～5月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	15,051人
創立年	1908年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USドル) (1 現地通貨 = 155 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため授業料免除
宿舍費	3,356	円	寮費 3138ドル+延長料金 218ドル
食費		150,000 円	
図書費	150	円	教科書代
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費		37,400 円	イエローモバイル契約(月額 7,480 円)
現地交通費	0	0 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
旅費(留学中)		250,000 円	
被服費	0	15,000 円	
医療費	205	円	留学生必須の血液検査
保険費	513	55,290 円	形態: UNO 指定+明治指定保険料
渡航旅費		420,000 円	
ビザ申請費	405	円	申請料 185ドル+SEVIS220ドル
雑費	0	0 円	
その他	370	円	UNO 諸経費
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	4,999 (=774,845 円)	927,690 円	
総計(A+B) ※円		1,702,535 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。



## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: \_\_\_\_\_ )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: \_\_\_\_\_ )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友達に聞いた。夜暗くなってきたら一人で外を歩かないようにした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学周辺はインターネット接続が常に不安定であるが、Wi-Fiに一旦つなげば問題なく使えた。一部のショッピングモールの中では全く電波が届かなかったので、友達と連絡が取れなかったことがあった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

一学期間だけだったため、現地で銀行口座は開設しなかった。日本のクレジットカードで支払った。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

薬、数日分のインスタント食品(現地でも調達できるが、到着したのが遅く、スーパーに行けなかったのでインスタント食品が役に立った)、トイレtpーパー1ロール(現地でも調達できるが、入居時にはトイレtpーパーが備えられていない)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 12 単位以上 15 単位以下	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ESL I	第二言語としての英語
科目設置学部・研究科	English
履修期間	2025 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	John Turnbull
授業内容	英語を第二言語として学ぶ生徒向けの講義。英語のレポートの書き方を学び、一学期を通して移民に関する一つの物語を読むことで、ライティング、リーディング力と語彙力を強化するとともに、移民問題についても考える。
試験・課題等	レポートが 3 回、単語テストが数回と、毎週新しく学んだ単語の vocabulary journal を作成
感想を自由記入	長文を読み、リーディングとライティング力を身に付けていく授業スタイルは、国日の英語必修科目である Reading&Writing の授業内容に近いと感じた。様々な国籍の生徒が履修していたので、移民に関する国ごとの考え方の違いを知ることができた。毎週長文の英語を読み、定期的にレポートを書く機会があるため、リーディングとライティング力を強化するのに、ためになる授業だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Women's and Gender Studies	女性学・ジェンダー研究入門
科目設置学部・研究科	Women's and Gender Studies
履修期間	2025 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Kate Kough
授業内容	講義とディスカッション
試験・課題等	試験はない。毎週授業の振り返りと zine page かレポートを作成して提出する。学期末に final zine page を作成する。
感想を自由記入	この授業を通してジェンダーは様々な分野に関わりがあると知ることができた。周りの生徒とディスカッションをすることで、自分では気づかなかった新たな視点に気づかれ、ジェンダーに関する考えを深めることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Elementary Spanish I	初級スペイン語 I
科目設置学部・研究科	Spanish
履修期間	2025 Fall
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(一週間に75分が2回)とオンライン形式(一週間に2回*時間は変動あり)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Josefa Samper Suárez
授業内容	オンライン形式で最初に新たな文法を学び、対面の講義で復習するというような形で進められた。
試験・課題等	毎週のオンライン講義や講義後のクイズがあった。対面では、教科書が一章終わるごとにテストを行った。
感想を自由記入	スペイン語は明治でも履修できるが、英語でスペイン語を学ぶことができるのは貴重な機会だと思ったので、履修した。毎週のオンラインの課題がとても多く、大変だった。しかし、対面の授業は履修者制限があり、少人数クラスだったため、教科書を音読するだけでなく、学んだ文法や単語を使って周りの生徒とスペイン語で会話する機会が多く設けられたため、スピーキング力の向上にもつながったと思う。対面の講義形式とオンライン形式で授業が進められるため、進みが速かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Latin America: An Introduction	ラテンアメリカ: 入門
科目設置学部・研究科	Latin American Studies
履修期間	2025 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Huáscar García
授業内容	講義形式で行われた。ラテンアメリカに関する歴史や政治について学んだ。
試験・課題等	課題はあまりなかったが、中間テストが対面のマークシート方式で行われた(持ち込み不可)。期末テストも対面の予定だったが、先生の都合により、オンラインで行うよう変更された。また、期末にはグループでのレポート作成やプレゼンテーションも行った。
感想を自由記入	先生がラテンアメリカ出身であるため、たまに講義がスペイン語と英語が混ざって行われることがあり、聞き取れない単語があってもスペイン語なのか英語なのか分からず、内容を理解するのに苦労したことがあった。ほとんどラテンアメリカの歴史について知らない状態で履修したことに加え、日常会話ではほとんど使わない学術的な英語が毎回たくさん出てくるので、速いスピードの授業についていくのが大変だった。期末レポートやプレゼンテーションもトピックに関連したニュース記事や論文を 5 個以上引用することが条件だったので記事を探すのにも苦労するなど、今学期履修した授業の中で一番大変な授業だったが、日本ではあまり扱いない分野であり、この授業を通して新たにラテンアメリカの歴史と歴史に関連した政治問題についても学ぶことができたので履修して良かったと思う。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	出願、ビザ申請・取得、航空券購入、滞在先確保
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間試験(10月)、期末試験(12月)、帰国(12月)
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

過去の留学報告書を読んで、オマハは都会過ぎないため治安が良く、静かな環境で留学ができるのではないかと考えたので留学先に選びました。

UNO では大学から徒歩約 40 分の大学のアリーナでアイスホッケーやバレーボール、バスケの試合など学生は無料で観られる試合がたくさん開催されており、現地学生と一緒に盛り上げられる貴重な機会だと思うので、興味があればぜひ観に行くことをお勧めします。

アメリカでは支払いはほとんどクレジットカードでしたが、友達と割り勘する時など現金を使う機会も何回かあったので、クレジットカードだけではなく、現金も何ドルか持って行ったほうが良いと思います。

留学を通して、留学生活で最も大切なことは、とにかく自ら行動を起こすことだと実感しました。慣れない環境で新しいことに挑戦するという事は最初はとても勇気がいると思います。しかし、行動を起こさなければ何も始まりません。私も一人で海外に行くのは初めてだったので渡航直後は不安もありました。それに加えて、私は普段は積極的な方ではないのですが、留学のために資金援助をしてくれた両親の支えもあり留学できたのに、自分から行動を起こさなければ日本にいるのと何も変わらないと思い、オマハではイベントがたくさん開催されていたので思い切ってできるだけ参加しました。その結果、たくさんの優しい友人に出会うことができました。この 4 か月は今考えるととても短い期間でしたが、この留学を通して大切な友人たちに出会うことができましたので、勉強面でも生活面でも楽しく充実した期間でした。同じ留学期間でも自分がどう行動するかで充実度は変わってくると思います。これから留学するみなさんも貴重な留学体験を有意義なものにして、ぜひ新しいことに挑戦してほしいと思います。